

JA信用事業の内部統制の基本研修

研修目的・ゴール等	信用事業の業務運営に必須となる内部統制・コンプライアンスに関する基礎知識を理解のうえ、その重要性を意識した業務運営が実践できるようになる
想定受講対象者	信用事業部門の担当者 信用事業部門の管理者
適正人数	推奨：30名（上限：40名まで）
研修日程	1日（9：30～17：00）
研修講師	KINZAI

【研修プログラム】

	10	11	12	13	14	15	16	17
研修内容	開講挨拶	講義 1 はじめに ・JA信用事業にとってのコンプライアンスの重要性 ・不祥事とは、不祥事件とは ・コンプライアンスとは、内部統制とは 2 利用者保護とコンプライアンス上の課題 ・貯金者の保護 ・監督官庁が示す利用者保護等の要件 ・利用者（お客さま）を保護するとは *適宜休憩	（昼食）		講義 2 利用者保護とコンプライアンス上の課題（続き） ・「事務リスク管理態勢」の強化 ・マナー・ロンドンタリク防止、反社会的勢力との関係遮断	3 不祥事件防止の要点 ・不正行為の発生要因と対策の考え方 ・ヒューマンエラーの発生要因と対策の考え方 ・現金100万円の「紛失」と「横領」の違い *適宜休憩		まとめ・閉講挨拶
時間	10	140	60		220			20

事前課題	なし	
事後課題	なし	

- ★ 本研修プログラムは、研修ゴールの達成に向けて、必要と認識した時間配分例。研修の開始時刻・終了時刻は、県域の実状等に応じて、適宜変更されたい。
- ★ 研修時間を延長する場合は、事前に講師と調整のうえ、適宜講義・ワーク等の拡充を検討されたい。一方、研修時間の短縮については、研修効果が低下するため推奨しないが、事情により短縮する場合は、原則30分以内までとし、事前に講師と調整のうえ、短縮を検討されたい（不明な場合等は、NCAまでご照会願いたい）。